

する目標を定め、文化への決意を誓い合い励まし合うための、仮称「市民文化綱領」の策定を。

◎文化振興基金の設定 市民の手づくり文化を具体化する方途として、行政だけでなく、広く市民、民間企業の協力を得て基金を設定。それを将来文化振興財団に。

◎文化の交流 文化は交流によって広まり、交流によって発展していくものであり、国内外と姉妹都市提携を。

◎高等教育機関の誘致 市民の文化水準を高めるための核づくりの方策として、大学・短大等の高等教育機関の誘致を。

◎総合市民文化会館の建設促進 市民文化活動の中心の場としての総合市民文化会館の建設促進を。

文化活動を もりあげるために

◎「富士市民文化賞」の創設 文化振興に寄与した市民や、団体の功績を顕彰して、文化活動を一層もりあげるために「富士市民文化賞」の創設を。

◎「富士の文化」を映画・スライドに 地域の歴史と文化を紹介する映画やスライドの制作と伝統行事、民話、郷土芸能などの集録発刊を。

◎市民芸術文化月間の設定 より多くの市民が芸術文化に関心をもち、これらの文化行事に参加するために

も全市的な規模で春、秋を重点に「市民芸術文化月間」の設定を。

◎地区文化祭の拡充 地区内にある会社・工場・商店などにも参加を呼びかけ、その地区の特性を生かした文化祭を。

◎文化のための人材登録など 各分野のリーダーをボランティアとして人材登録し、市民の学習要求に応えていく。

◎青少年の健全育成 行事などに青少年の役割をできるだけ設定し、市民総ぐるみで健全育成につとめる。

◎「家庭の日」への期待 真に家庭をみつめ、実践目標を定め健全な家庭づくりにつとめることを期待。

◎市民みんなの富士まつり まつりは地域社会を維持し、発展させていくうえに大きな役割を果す。そこで富士まつりを市民みんなのまつりに。

◎「ふじ讃歌」の募集 市民誰もが心をひとつにして、気軽に楽しく歌える「ふじ讃歌」の創作を。作詞、作曲は広く市民から募集。

文化懇談会は、「富士市民の文化をどう進めるか」をテーマに、二年間を期限に懇談を重ねてきました。そして、二十項目を提言としてとりまとめました。

市民文化と富士山



市民文化懇談会
座長 石田 潔さん

深く耕していただければ幸です。市民文化は、結局のところ市民の心の問題であり、心を原点として進められることであります。その心を象徴するものは、富士山であります。富士山を仰いだとき、私たちは人間としての我が心を呼びあこされ、そしてまた、富士山麓に生きる富士市民としての心をかきたてられします。そこで、私は思います。富士市の市民文化を推進する合言葉は、「富士山を仰いで市民文化を進めよう」と。いかがでしょうか市民のみなさん。

市民と行政が一体となり

富士市の頂点としてそびえている富士山は、富士市民の心の象徴であり都市づくりの基点である。

今後、市民も行政も常にそのことを意識し、まちづくりを進めてほしい。さらには行政は組織・内容にわたり、市民文化をどう進めるかを課題に全庁的な体制づくりに着手するよう要請する—と提言しています。

して困ります。それと、商店の建物があまり調和がとれていない感じ、市庁舎もいかめしいですね。

—市民についてはどう感じます。

池田 皆さんあくせくしていない感じ……。でもこれ欠点でもあるようね。市民活動への参加も少ないのではないかしら。

—富士市に望むことは……。

池田 冬も利用できる市民プールがほしい。それに市民の文化活動を市はもっと援助してほしいですね。



—ここに来るまでに富士市のことなどをどの程度知っていましたか。

池田 私、スチュワーデスをやっていましたので、上空からはよく眺めてはいましたが……。そうね、富士山、ヘドロ、暴力の街ということかしら。まさかこ、に住むことになるとは思いませんでしたので……。

—で、住んでみての感想は。

池田 水がおいしいですね。今はヘドロや暴力はなくなったようですが、悪臭がひどいです。空気も汚れているのかしら、子供がセキを